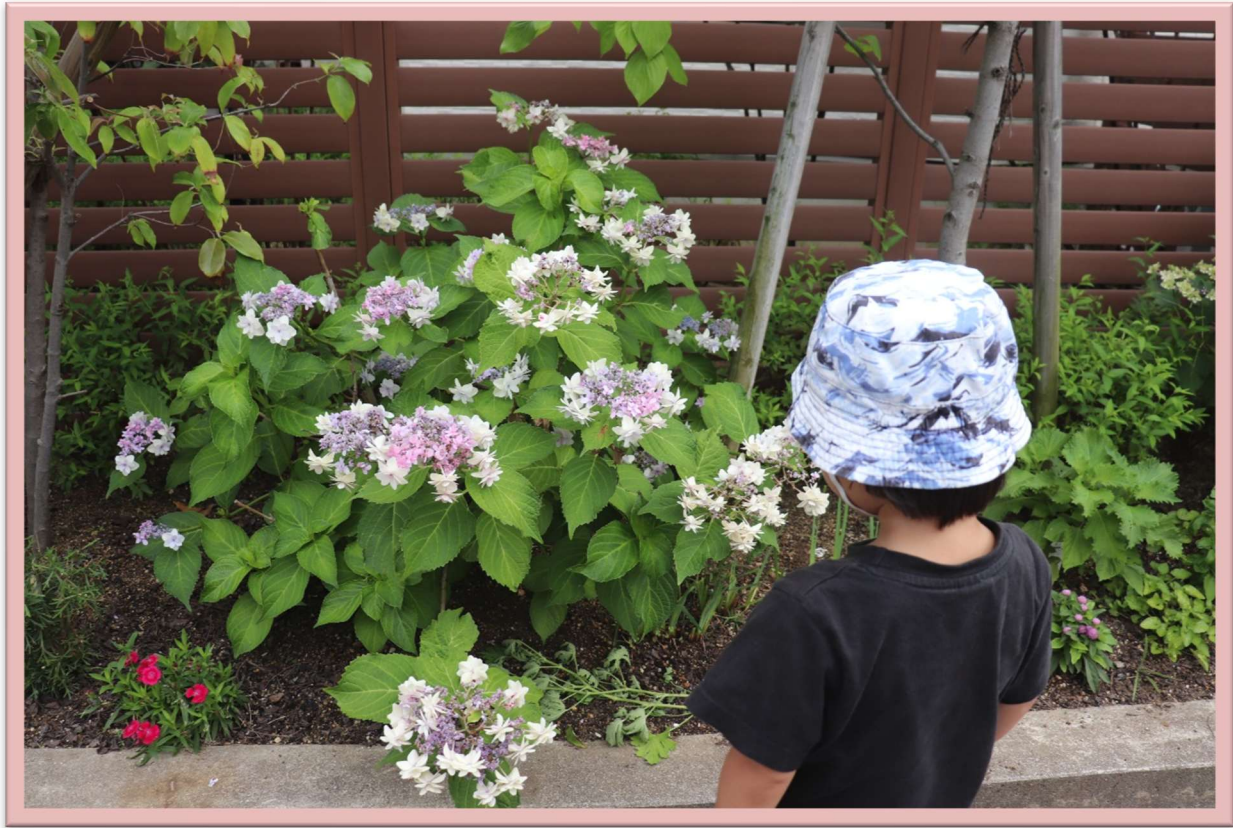


すみれ乳児院だより 101 号

2026 年 7 月 1 日発行

大阪市旭区新森 7 丁目 8-16

発行責任者 施設長 菅野由美子



今年の夏も厳しい暑さを思わせる日が多く、子どもたちは水あそびを楽しんでいます。

日頃より、関係者のみなさま、地域のみなさまには、すみれ乳児院に温かいご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。

新年度がはじまり数か月が経ち、子どもたちは新しい環境に少しずつ慣れ、イキイキと生活を送っている様子が見られるようになりました。昨年度の全国乳児院の調査では、「在籍児の 43% が 2 歳以上児」とあり、当院においても 2 歳以上児が半数となり幼児の発達保障の充実が求められ進めています。院内保育室「ゆりぐみ」、幼稚園、児童発達支援への通所などひとりひとりの子どもに合った発達保障の場を検討し取り組んでいます。

子どもの「五感」（視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚）を育てることは、人生を豊かに生きていくために、とても大切なことと聞きます。「基本的生活習慣」はもちろんのこと、自然に触れること、遊びの充実など、子どもの日常を丁寧に過ごし様々な社会経験の中で「五感」を刺激しながら生活していくことが必要になってきます。

職員も子どもや子育て支援で「五感」を研ぎ澄ませている姿があります。新任職員 4 名が子どもたちの安心安全な生活が送れるよう試行錯誤しながら接している姿に微笑ましさも感じます。6 月は職員会議のグループワークにて、子どもの権利を守るため大切にすることとして、新任職員グループは、「子どもたちの気持ちに寄り添う」と伝えてくれました。その思いを大切にできるようチーム養育を進めていきたいと思います。

今年度は、第三者評価受審の年でもあります。乳児院の「高機能化、多機能化」に向けて地域の子育て世代のニーズに応えられるような具体的な事業展開が求められている中、職員一同で振り返り、話し合い、今後の展望を探っていきます。くるみ乳児院をはじめ地域の子育て機関とも連携して取り組んでいきます。

今後も引き続きご理解とご協力を、よろしくお願い申し上げます。

すみれ乳児院 副施設長 藤川



昼食パーティー



5月28日に昼食パーティーを行いました。ポテト・鶏の照り焼き・ウインナー・おにぎり（鮭・ツナマヨ・ゆかり枝豆・そぼろ）・ちくわコーンのひよこ🐣・果物を用意し、子どもたちが食べたい物を自由を選ぶようにバイキング形式にしました。普段と違った雰囲気緊張して職員に「一緒に行こう」という子や、目を輝かせて一人で「これとこれちょうだい」と自分の食べたい物を教えてくれる子など様々でした。



職員も一緒に食べていると「これ食べて」と美味しかったものを職員にも教えてくれ、同じものを一緒に食べようと誘ってくれました。

ホームに帰ってからも「楽しかったね」「また食べたいね」という子どもたちでした。これからも子どもたちの食事が楽しくなるように工夫をしていきたいと思います。（門川）



乳児院のお仕事～看護師～



すみれ乳児院の医務室には専任看護師がおり、居室を巡回、子どもたち一人ひとりと顔を合わせ小さなサインも見逃さないようにしています。そして、各ホームに看護師を配置し、ホーム職員と情報共有しています。

週に一度、囑託医の先生が来てくださり院内診察が行われ、薬の処方、予防接種、健康診査などが受けられます。体調不良時は、医務室で安静に過ごす時もあります。看護師がいる環境で、元気な子どもたちの生活の場を守る予防と病児へのケアも大切な役割です。

私たちすみれ乳児院の看護師は医療からの視点で子どもたちの元気を支えるとともに、保護者の皆さまに寄り添う心強い味方でありたいと思っています。

体調の変化はもちろん、日々の発育やケアについての「こんなこと聞いてもいいのかな？」と思うようなちょっとした疑問、心配ごとなど、いつでも気軽にお話ししてください。健やかな笑顔を守る為に一緒に大切なお子さまの成長を支えていきましょう。これからも子どもたちの健やかな育ちを目指し、子どもたちと保護者の皆様、そして職員の笑顔があふれる温かい環境をみんなで一緒に育んでいけたらと思います。（杉野）





子どもたちの様子



「今日は何する？」と聞くと必ず『さんばいく！』と答えるほど散歩が大好きな子どもたちです。緑地公園にいる馬を見に行くのが定番の散歩コースです。馬が見えてくると、『おうまさんおった！』と駆け寄り、柵ごしにじっと観察したり、『(おうまさん) おったねえ』と指差して嬉しそうに職員に笑いかけていました。

GW にはふれあい動物園が来ており、カピバラを見ることができました。普段見ることのない動物に、『これは？』と興味津々で見ていた子どもたちでした。

散歩は季節の自然を見たり触れたり感じることができ、子どもの世界を広げてくれます。これからも子どもたちとどんな発見ができるか、みんなで散歩を楽しんでいきたいです。(野崎)



東部里親支援センターmikata



私たち里親支援センターmikataの業務の一つに、里親制度の普及啓発やリクルート活動があります。里親制度について広く知っていただき、家庭を必要としている子どもたちが、一人でも多く温かい家庭で暮らせるよう、多くの方に里親になっていただけるような活動を進めています。これまで、地域のスーパーでのポスター掲示や、里親制度に関するチラシ・啓発グッズの配布、パネル展や相談会の開催などを行ってきました。また、行政との連携も大切にしながら、区民まつりでの啓発活動にも力を入れています。里親ミニ講座なども含め、普及啓発活動は多岐にわたります。こうした活動は、すぐに目に見える成果につながるものではありません。しかし、啓発活動の際に、地域の方からいただく「頑張ってるね」という温かい言葉に励まされながら、地道に活動を続けています。里親子が地域の中で安心して暮らしていけるよう、地域の皆さまとともに、地域に根差した活動に取り組んでいければと考えています。

「mikata」という名前には、「里親子の味方でありたい」という思いが込められています。その名の通り、私たちはこれからも、多種多様な専門職や関係団体と手を取り合いながら、こどもたちと里親家庭を支える活動に取り組んでまいります。(井上)

～おしらせ～

mikataの事務所にて里親制度のミニ講座を行います。里親制度、里親の種類について、また里親登録になるまでの流れを分かりやすく説明します。関心を持たれた方ぜひお越しください。お待ちしております。

2026年7月8日(水) 18:30～19:30

2026年7月31日(金) 18:30～19:30

2026年8月8日(土) 10:00～11:00

詳しくはこちらから →





いただきます～す！

☆ミルクパン☆

感触を確かめながら、丸めたり伸ばしたり。
子どもたちと楽しく作っているパンです。



【材 料】(10個分)

☆強力粉・・・300g
☆砂糖・・・15g
・牛乳・・・220cc

☆ドライイースト・・・4g
☆塩・・・6g
・バター(マーガリン)・・・20g ※室温に戻す

【作り方】

- ① ☆の材料をボウルに入れて混ぜ合わせる。牛乳を入れてヘラで混ぜる。
ひとかたまりになったら室温に戻したバターも入れて3分間、手でこねる。
- ② ボウルにラップをかけて冷蔵庫に入れ、一晚(8時間以上)寝かせる。
- ③ ②の生地を冷蔵庫から出して室温に戻す。膨らんだ生地をつぶして、空気を抜く。
- ④ 10等分にし、好きな形に成型する。天板に並べてふきんをかけ、20分ほど二次発酵。
ひとまわり大きくなったらOK。
- ⑤ 190℃で10分ほど、美味しそうな色が付くまで焼いてできあがり。

(給食部 中村)

後援会からのお願い

すみれ乳児院が所属する「社会福祉法人 大阪福祉事業財団」は、大阪府下に24の福祉施設を持っています。大阪福祉事業財団後援会では、各施設の増改築や新しい施設づくりなどの事業に協力し、会員相互の交流を深めながら権利としての社会福祉の実現をめざす取り組みを進めています。

後援会では皆様の物心両面にわたるご支援・ご協力を必要としております。

*個人会員 1口 3,000円
*団体会員 1口 10,000円

既に入会して頂いている方は、2026年度の更新の手続きを宜しくお願いいたします。

大阪福祉事業財団を応援して
くださる方は、すみれ乳児院
(06-6958-6066)まで。



すみれ乳児院
ホームページ



すみれ乳児院
Instagram

夏の行事予定

7月 すみれ夏祭り
うどん大会
9月 あおグループ園外保育

【編集後記】

本格的な夏が始まりましたね。
暑さが増す季節、夏野菜や冷たい飲み物で涼を
とりつつ、水分補給を忘れず。
小さな“涼しさ”を見つけながら
元気に過ごしましょう。(佐伯)

